



## サービスについて

---

Cisco Unified Serviceability サービス管理には、機能サービスとネットワーク サービス、および servlet の操作が含まれています。これらは、Tomcat Java Webserver と関連付けられています。機能サービスは、Serviceability Reports Archive などのアプリケーション機能を使用可能にするものです。ネットワーク サービスは、システムが機能するために必須です。

サービスまたは servlet に障害が発生すると、アラームがアラーム モニタに書き込まれます。アラーム情報を表示した後は、サービスについてトレースを実行できます。[Trace Configuration] ウィンドウでは、サービスと servlet に、異なるトレース レベルが表示されることに注意してください。

この章では、サービス /servlet、サービスのアクティブ化、および Control Center について説明します。この章は、次の項で構成されています。

- [機能サービス \(P.9-2\)](#)
- [ネットワーク サービス \(P.9-3\)](#)
- [サービスのアクティブ化 \(P.9-7\)](#)
- [Control Center \(P.9-7\)](#)
- [サービス設定のチェックリスト \(P.9-7\)](#)
- [関連情報の参照先 \(P.9-8\)](#)

## 機能サービス

Cisco Unified Serviceability では、機能サービスをアクティブ化、開始、および停止できます。アクティブ化すると、サービスが起動されます。[Service Activation] ウィンドウでサービスをアクティブにした後は、[Control Center - Feature Services] ウィンドウでサービスを開始する必要はありません。何らかの理由でサービスが開始されない場合は、[Control Center - Features Services] ウィンドウで開始する必要があります。

Cisco Unity Connection をインストールしても、機能サービスはシステムで自動的にアクティブ化されません。機能サービスとは、Serviceability Reports Archive などの Cisco Unity Connection 機能を使用するのに必要な関連サービスのことです。機能サービスをアクティブにした後は、Cisco Unity Connection の管理で関連設定を変更できます。

[Service Activation] ウィンドウでは、Cisco Unified Serviceability により、機能サービスは次のグループに分類されています。

- データベースおよび管理のサービス (P.9-2)
- パフォーマンスおよびモニタリングのサービス (P.9-2)

[Control Center - Feature Services] ウィンドウでは、Cisco Unified Serviceability により、サービスは [Service Activation] ウィンドウに表示されるのと同じグループに分類されています。



ヒント

サービスアクティブ化の推奨事項については、P.9-7 の「サービスのアクティブ化」および P.11-2 の「機能サービスのアクティブ化および非アクティブ化」を参照してください。

### データベースおよび管理のサービス

この項では、データベースおよび管理のサービスについて説明します。

#### Cisco AXL Web Service

Cisco AXL Web Service では、AXL を使用するクライアント ベースのアプリケーションから、データベース エントリを変更し、ストアド プロシージャを実行することができます。

### パフォーマンスおよびモニタリングのサービス

この項では、パフォーマンスおよびモニタリングのサービスについて説明します。

#### Cisco Serviceability Reporter

Cisco Serviceability Reporter サービスは日次レポートを生成します。このレポートについては P.10-1 の「Serviceability Reports Archive について」で説明しています。

Reporter は、ログ記録された情報に基づいて、1 日に 1 度レポートを生成します。Reporter が Cisco Unified Serviceability で生成したレポートには、[Tools] メニューからアクセスできます。各要約レポートは、そのレポートの統計を示すさまざまなグラフで構成されます。サービスをアクティブにした後、レポート生成に 24 時間かかることがあります。

## ネットワーク サービス

自動的にインストールされるネットワーク サービスには、Cisco Unity Connection システムが機能するのに必要なサービス（データベースおよびプラットフォーム サービスなど）が含まれます。これらのサービスは基本的な機能に必要なので、[Service Activation] ウィンドウではアクティブにできません。トラブルシューティングなどの目的に必要な場合は、[Control Center - Network Services] ウィンドウでネットワーク サービスを停止して起動（または再起動）する必要があります。

Cisco Unity Connection をインストールすると、ネットワーク サービスは自動的に起動され、[Control Center - Network Services] ウィンドウに示されます。[Control Center - Network Services] ウィンドウでは、Cisco Unified Serviceability により、サービスは次のグループに分類されています。

- パフォーマンスおよびモニタリングのサービス (P.9-3)
- バックアップおよび復元のサービス (P.9-4)
- システム サービス (P.9-4)
- プラットフォーム サービス (P.9-5)
- DB サービス (P.9-6)
- SOAP サービス (P.9-6)

### パフォーマンスおよびモニタリングのサービス

この項では、パフォーマンスおよびモニタリングのサービスについて説明します。

#### Cisco CallManager Serviceability RTMT

Cisco CallManager Serviceability RTMT servlet は、Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool (RTMT) をサポートします。RTMT を使用すると、トレースの収集および表示、パフォーマンス モニタリング オブジェクトの表示、アラートの操作、およびデバイス、システム パフォーマンス、CTI アプリケーションなどのモニタを行うことができます。

#### Cisco RTMT Reporter servlet

Cisco RTMT Reporter servlet を使用すると、RTMT のレポートを公開できます。

#### Cisco Log Partition Monitoring Tool

Cisco Log Partition Monitoring Tool サービスは、Log Partition Monitoring 機能をサポートします。この機能は、設定済みしきい値とポーリング間隔を使用して、サーバ上のログパーティションのディスク使用量をモニタします。

#### Cisco Tomcat Stats Servlet

Cisco Tomcat Stats Servlet を使用すると、RTMT またはコマンドライン インターフェイスを使用して、Tomcat perfmon カウンタをモニタできます。このサービスが多くのリソース（たとえば、CPU 時間）を使用している疑いがある場合以外は、このサービスを停止しないでください。

#### Cisco RIS Data Collector

Real-time Information Server (RIS) は、デバイス登録ステータス、パフォーマンス カウンタ統計、生成された重大アラームなどの、リアルタイム情報を管理します。Cisco RIS Data Collector サービスには、Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool (RTMT)、SOAP アプリケーションなど、RIS サーバに格納された情報を取得するための、アプリケーション用のインターフェイスが用意されています。

### Cisco AMC Service

このサービス (Alert Manager and Collector サービス) は、Cisco Unified Communications Manager Real-Time Monitoring Tool (RTMT) に使用され、サーバに存在するリアルタイム情報を RTMT が取得するのを許可します。

## バックアップおよび復元のサービス

この項では、バックアップおよび復元のサービスについて説明します。

### Cisco DRF Master

Cisco DRF Master Agent サービスは、DRF Master Agent をサポートします。DRF Master Agent は、Disaster Recovery System のグラフィカルユーザインターフェイス (GUI) またはコマンドラインインターフェイス (CLI) で動作し、必要に応じてバックアップのスケジュール、復元の実行、依存関係の表示、ジョブのステータスの確認、およびジョブのキャンセルを行います。Cisco DRF Master Agent には、バックアップおよび復元プロセス用の保管メディアも用意されています。

### Cisco DRF Local

Cisco DRF Local サービスは、DRF Master Agent の主力機能である Cisco DRF Local Agent をサポートします。コンポーネントは、障害回復フレームワークを使用するために、Cisco DRF Local Agent に登録されます。Cisco DRF Local Agent は、Cisco DRF Master Agent から受信したコマンドを実行します。Cisco DRF Local Agent は、ステータス、ログ、およびコマンド結果を Cisco DRF Master Agent に送信します。

## システム サービス

この項では、システム サービスについて説明します。

### Cisco CallManager Serviceability

Cisco CallManager Serviceability サービスは、問題のトラブルシューティングやサービスの管理に使用する Web アプリケーション/インターフェイスである Cisco Unified Serviceability をサポートします。自動的にインストールされるこのサービスを使用すると、ユーザは Cisco Unified Serviceability の GUI にアクセスできるようになります。このサービスを停止すると、サーバを参照するときに Cisco Unified Serviceability GUI にアクセスできなくなります。

### Cisco CDP

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### Cisco Trace Collection Servlet

Cisco Trace Collection Servlet は、Cisco Trace Collection Service とともにトレース収集をサポートし、ユーザが RTMT を使用してトレースを表示できるようにします。サーバ上でこのサービスを停止すると、そのサーバ上のトレースは収集または表示できなくなります。

RTMT で SysLog Viewer と Trace and Log Central が機能するには、Cisco Trace Collection Servlet と Cisco Trace Collection Service がそのサーバで動作している必要があります。

### Cisco Trace Collection Service

Cisco Trace Collection Service は、Cisco Trace Collection Servlet とともにトレース収集をサポートし、ユーザが RTMT クライアントを使用してトレースを表示できるようにします。サーバ上でこのサービスを停止すると、そのサーバ上のトレースは収集または表示できなくなります。

RTMT で SysLog Viewer と Trace and Log Central が機能するには、Cisco Trace Collection Servlet と Cisco Trace Collection Service がそのサーバで動作している必要があります。



#### ヒント

必要に応じて、初期化時間を削減するために、Cisco Trace Collection Service を再起動してから Cisco Trace Collection Servlet を再起動することをお勧めします。

## プラットフォーム サービス

この項では、プラットフォーム サービスについて説明します。

### Cisco DB

Cisco DB サービスは、Progres データベース エンジンをサポートします。

### Cisco Tomcat

Cisco Tomcat サービスは、Web サーバをサポートします。

### SNMP Master Agent

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### MIB2 Agent

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### Host Resources Agent

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### Native Agent Adaptor

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### System Application Agent

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### Cisco CDP Agent

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### Cisco Syslog Agent

このサービスは Cisco Unified Serviceability に表示されますが、Cisco Unity Connection をサポートしていません。

### Cisco Electronic Notification

このサービスは Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページとともに動作するので、ソフトウェア アップデートに関する電子メールの送信が可能になります。

### Cisco Certificate Expiry Monitor

このサービスは、システムが生成する証明書の有効期限切れステータスを定期的を確認し、証明書の有効期限に近づくと、通知を送信します。このサービスに使用する証明書は、Cisco Unified オペレーティング システムの管理ページで管理します。

## DB サービス

この項では、DB サービスについて説明します。

### Cisco Database Layer Monitor

Cisco Database Layer Monitor サービスは、データベース レイヤの局面をモニタします。このサービスが、変更通知およびモニタリングを担当します。

## SOAP サービス

この項では、SOAP サービスについて説明します。

### Cisco SOAP-Real-Time Service APIs

Cisco SOAP-Real-Time Service APIs を使用すると、デバイスおよび CTI アプリケーションの情報をリアルタイムで収集できます。このサービスには、サービスをアクティブ化、起動、および停止する API も用意されています。

### Cisco SOAP-Performance Monitoring APIs

Cisco SOAP-Performance Monitoring APIs サービスを使用すると、SOAP API を介してさまざまなアプリケーションのパフォーマンス モニタ カウンタを使用できます。たとえば、サービスごとのメモリ情報、CPU 使用量、パフォーマンス モニタ カウンタなどをモニタできます。

### Cisco SOAP-Log Collection APIs

Cisco SOAP-Log Collection APIs サービスを使用すると、リモート SFTP サーバ上でログ ファイルを収集したり、ログ ファイル収集のスケジューリングを行うことができます。収集できるログ ファイルの例としては、syslog、コア ダンプ ファイル、Cisco アプリケーション トレース ファイルなどがあります。

## サービスのアクティブ化

Cisco Unified Serviceability の [Service Activation] ウィンドウでは、複数の機能サービスをアクティブ化または非アクティブ化したり、デフォルトのサービスを選択してアクティブ化したりできます。Cisco Unified Serviceability は、自動モードで機能サービスをアクティブ化し、サービスの依存関係を確認します。ある機能サービスのアクティブ化を選択すると、実行をそのサービスに依存している他のすべてのサービス（存在する場合）の選択が Cisco Unified Serviceability によって要求されます。[Set Default] ボタンをクリックすると、Cisco Unified Serviceability は、サーバ上で実行するために必要なサービスを選択します。サービスをアクティブ化すると、そのサービスが自動的に起動されます。Control Center からサービスを起動 / 停止します。

## Control Center

Cisco Unified Serviceability の Control Center から、1 度に 1 つのサービスのステータスの表示、および起動 / 停止を行うことができます。このタスクを実行するために、Cisco Unified Serviceability には、2 つの [Control Center] ウィンドウが用意されています。ネットワーク サービスを起動、停止、および再起動するには、[Control Center - Network Services] ウィンドウにアクセスします。機能サービスを起動、停止、および再起動するには、[Control Center - Feature Services] ウィンドウにアクセスします。



### ヒント

[Control Center] ウィンドウと [Service Activation] ウィンドウ間を移動するには、[Related Links] ドロップダウンリストボックスと [Go] ボタンを使用します。

## サービス設定のチェックリスト

表 9-1 は、サービスを使用する手順を示しています。

表 9-1 サービス設定のチェックリスト

設定手順	手順と関連項目
ステップ 1	実行する機能サービスをアクティブにします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>機能サービス (P.9-2)</li> <li>機能サービスのアクティブ化および非アクティブ化 (P.11-2)</li> </ul>
ステップ 2	適切なサービス パラメータを設定します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>Cisco Unity Connection の管理でサービス パラメータを設定します。</li> <li>Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド</li> </ul>
ステップ 3	必要に応じて、Cisco Unified Serviceability トレース ツールを使用して問題をトラブルシューティングします。 <ul style="list-style-type: none"> <li>トレースの設定 (P.7-1)</li> <li>Real-Time Monitoring Tool アドミニストレーションガイド for Cisco Unity Connection</li> </ul>

## 関連情報の参照先

### 関連項目

- [Control Center \(P.9-7\)](#)
- [機能サービス \(P.9-2\)](#)
- [ネットワーク サービス \(P.9-3\)](#)

### その他のシスコ マニュアル

- *Cisco Unity Connection サービスアビリティ アドミニストレーションガイド*
- *Cisco Unity Connection システム アドミニストレーションガイド*